

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年8月20日

【2018年8月11日～2018年8月17日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。トルコをめぐる混乱は引き続き新興国への重しとなっています。

経済指標では、経済活動指数の発表がありました。結果は市場予想通りであり反応は限定的でしたが、ストライキの影響を受けて指数は前月落ち込んだ反動もあり、今回は前月比で大きな上昇となりました。

大統領選挙に関しては、15日(現地)に大統領候補者の登録が締め切られました。最大の関心事となっていたルラ氏の出馬については、PT(労働者党)が予定通り出馬登録を行いました。ルラ氏の支持者によるデモ行進が行われるなど出馬を求める声は根強い一方、検事総長が同氏の出馬に対して異議を申し立てた模様です。ルラ氏の出馬に関しては引き続き注視していく必要があります。

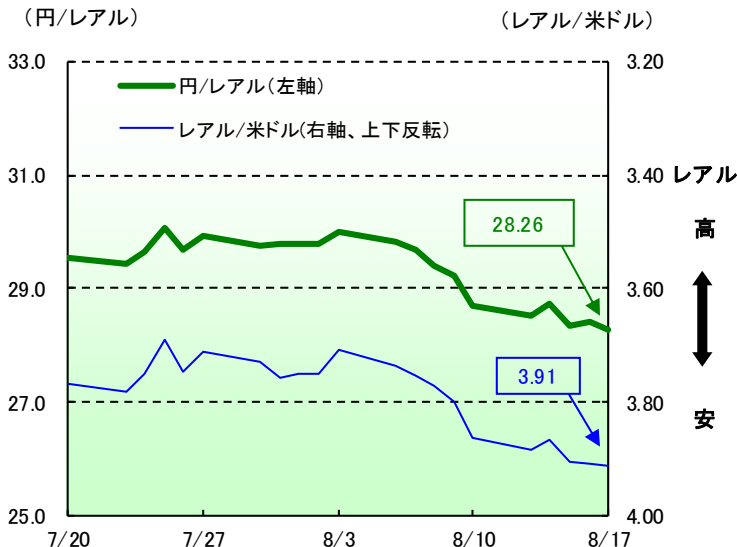
【2】今週の見通し

今週は、IPCA-15インフレ率のほか、雇用統計などが発表される予定です。

大統領選挙に関しては、複数の調査会社が世論調査を発表する見通しです。また、前述のルラ氏をめぐる動向に加えて注目されるのは、サンパウロでの汚職事件がアルキミン氏に与える影響です。元サンパウロ州知事であるアルキミン氏の関与が疑われる汚職問題について、当局が同氏を起訴する可能性があると言われています。実際に起訴されることになれば同氏の支持率低下は避けられないとみられます。また、市場ではアルキミン氏の躍進が期待されているだけに、同氏の支持率低下はブラジル・レアルの下押し圧力になりそうです。

【ブラジル・レアル 為替推移】

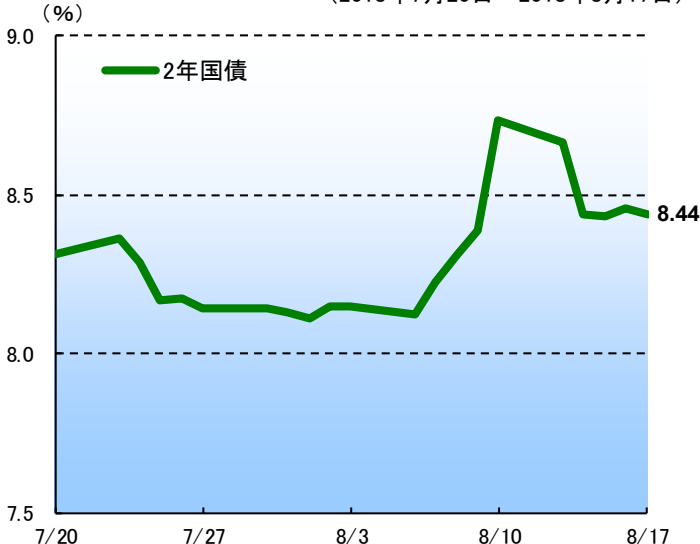
(2018年7月20日～2018年8月17日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年7月20日～2018年8月17日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>